

News Release



【高機能樹脂・新グレード】

BASF、加水分解に耐えるポリアミドを発売

- 熱湯にも耐える高い強度
- 自動車冷却水周りの用途向けに開発

BASF(本社:ドイツ、ルートヴィヒスハーフェン)は、加水分解しにくいポリアミド(PA66)を発売しました。新たに発売されたプラスチックは、Ultramid®(ウルトラミッド®) A3WG6 HRX と A3WG7 HRX で、それぞれ 30%、35%のガラスファイバーで強化されています。自動車の冷却水周りの用途向けに開発されました。自動車メーカーによる最新で、より厳格な長期加水分解試験に合格することが可能です。高温空気中でも優れた熱劣化耐性を示します。このウルトラミッド®の新グレードは、現在サンプル提供中です。製品の色は黒で、レーザーによるマーキングが可能です。

新製品のアイデアー体型オイル・フィルター・モジュール

この新しいプラスチックの特性により、ラジエーターのエンドキャップや各種コネクタ以外にもさまざまな用途が考えられます。たとえば、35%のガラスファイバーで強化されているウルトラミッド® A3WG7 HRX なら、クーラントパイプ体型のオイル・フィルター・モジュールを作ることができます。最近の自動車の場合、コンポーネントも熱水とグリコールに対する耐性が求められます。そのため、試験は水とグリコールの一般的な各種混合比率で行いました。

高温冷却水を用いた試験ー溶接部強度向上と割れの低下

BASF では、溶接部強度を詳しく検討しました。新しい A3WG7 HRX グレードで製作したタンクやキャップの溶着部は、一般的に使用されているプラスチックよりもはるかに高い強度を示しました。試験では溶着したコンテナを用い、その片面あるいは両面を温度 130℃の高温のクーラントにさらしました。その結果、ウルトラミッド®の新グレードは、割れの生成が非常に少ないことが明らかになりました。このように割れが発生しにくいということは、溶接部を持つ部品においてとても重要な特性です。なお、高温の純粋グリコールを用いた膨潤試験でも、同様の傾向が確認されました。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。製品ポートフォリオは、石油・ガスから化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、ファインケミカル製品と多岐にわたります。信頼に応えるパートナー企業として、あらゆる業界のお客様のさらなる成功をサポートしています。BASFは、高付加価値製品と高度なソリューションの提供を通し、温暖化防止やエネルギー効率の向上、栄養改善、モビリティ向上などの世界的な課題の解決に重要な役割を果たしています。従業員数は9万5,000人超、2007年には約580億ユーロの売上高を計上いたしました。BASF のホームページアドレスは、www.basf.com、BASF ジャパンのホームページアドレスは、www.japan.basf.comです。

2008年3月19日

お問い合わせ:

BASF ジャパン株式会社

大倉 真紀

TEL: 03-3238-2341

FAX: 03-3238-2514

maki.okura@basf.com

BASF ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ

住所: 〒102-8570

東京都千代田区紀尾井町 3-3

TEL: 03-3238-2341

FAX: 03-3238-2514

<http://www.japan.basf.com>